災害派遣精神医療チーム
DPATの活動

徳島県DPAT先遣隊　看護師
徳島県立海部病院　斎藤誠

災害時の精神保健の一般指針

多数対応

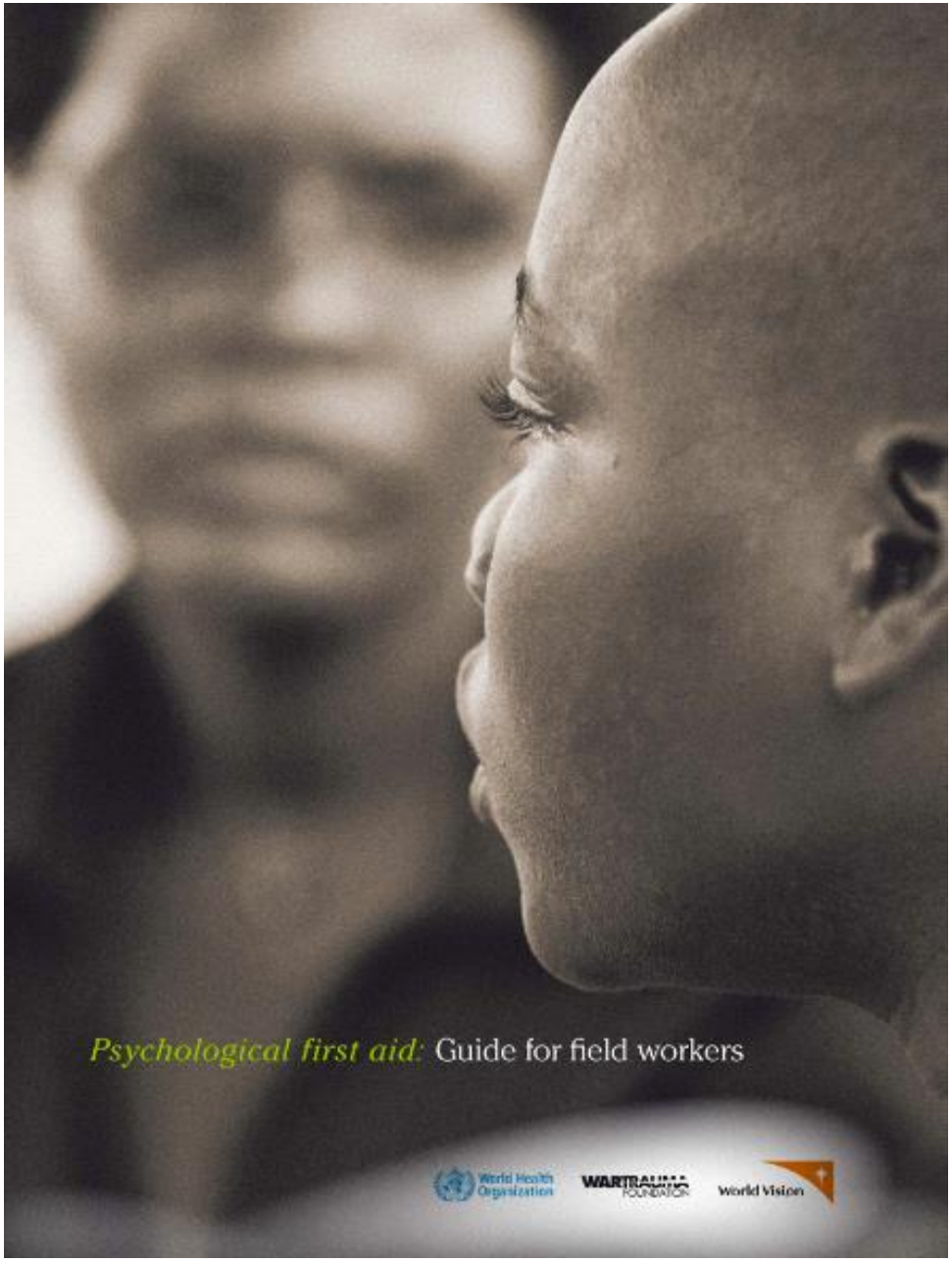
★ほとんどの被災者は急性期の症状から
自然に回復
★自然の治療経過と回復力の尊重
★回復の促進要因を強化
★回復の阻害要因の除去

→すべての支援者が行える支援
※PFAの概念

個別対応

★スクリーニング：ハイリスク、初期症状
★既存の疾患への対応
★専門的治療との連携

→精神保健医療の専門家が行う支援
※DPAT　等



心理的応急処置
（サイコロジカル・ファーストエイド：PFA)
フィールド・ガイド

- WHO出版

  www.who.int

- 3機関の協働

- World Health Organization
- War Trauma Foundation
- World Vision International

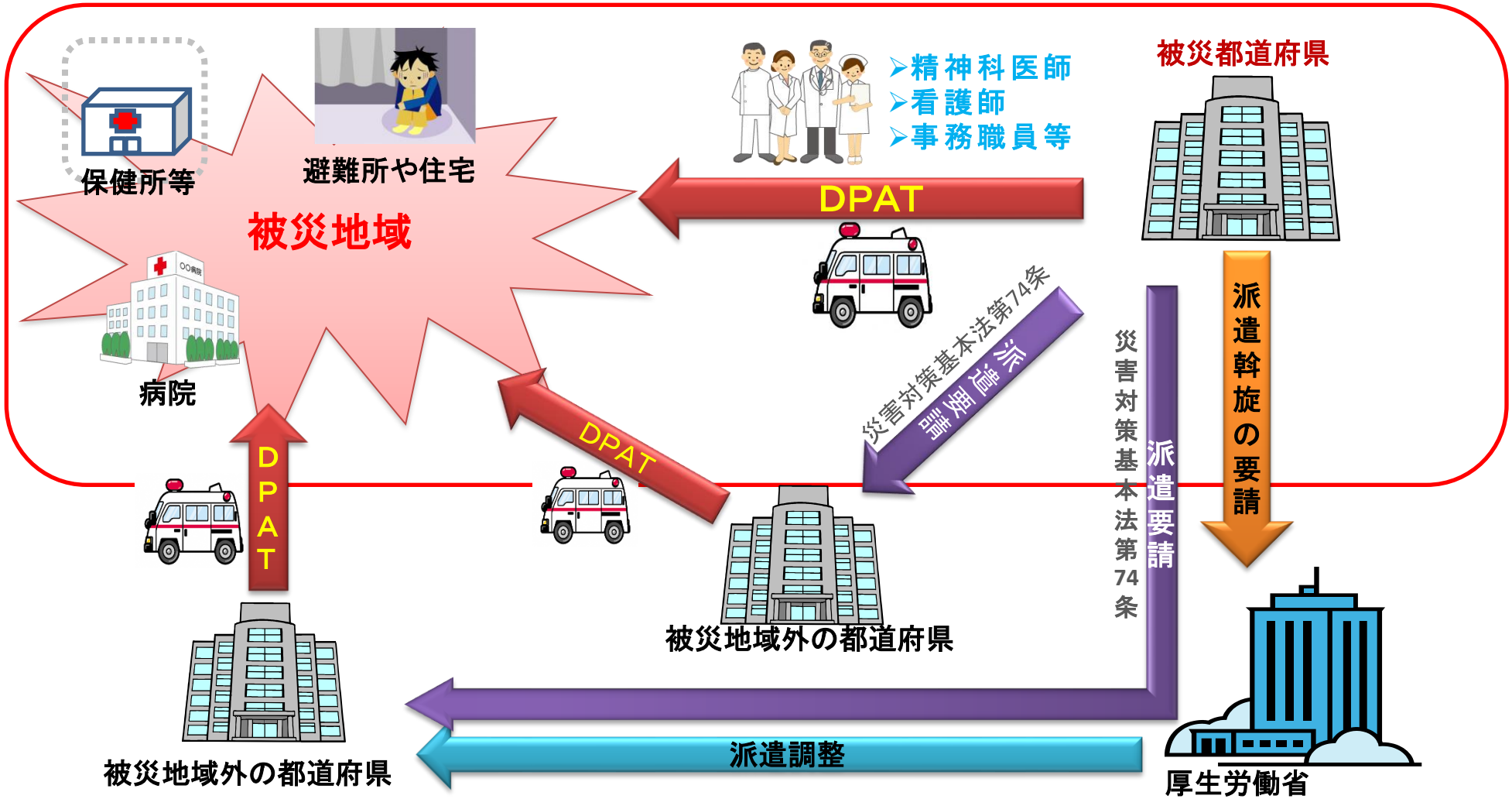
- 24の国際機関（UN/NGO)が推奨
- 数カ国語に対応

World Health Organization　WARTRAUMA FOUNDATION　World Vision

災害派遣精神医療チーム：DPAT
（Disaster Psychiatric Assistance Team）

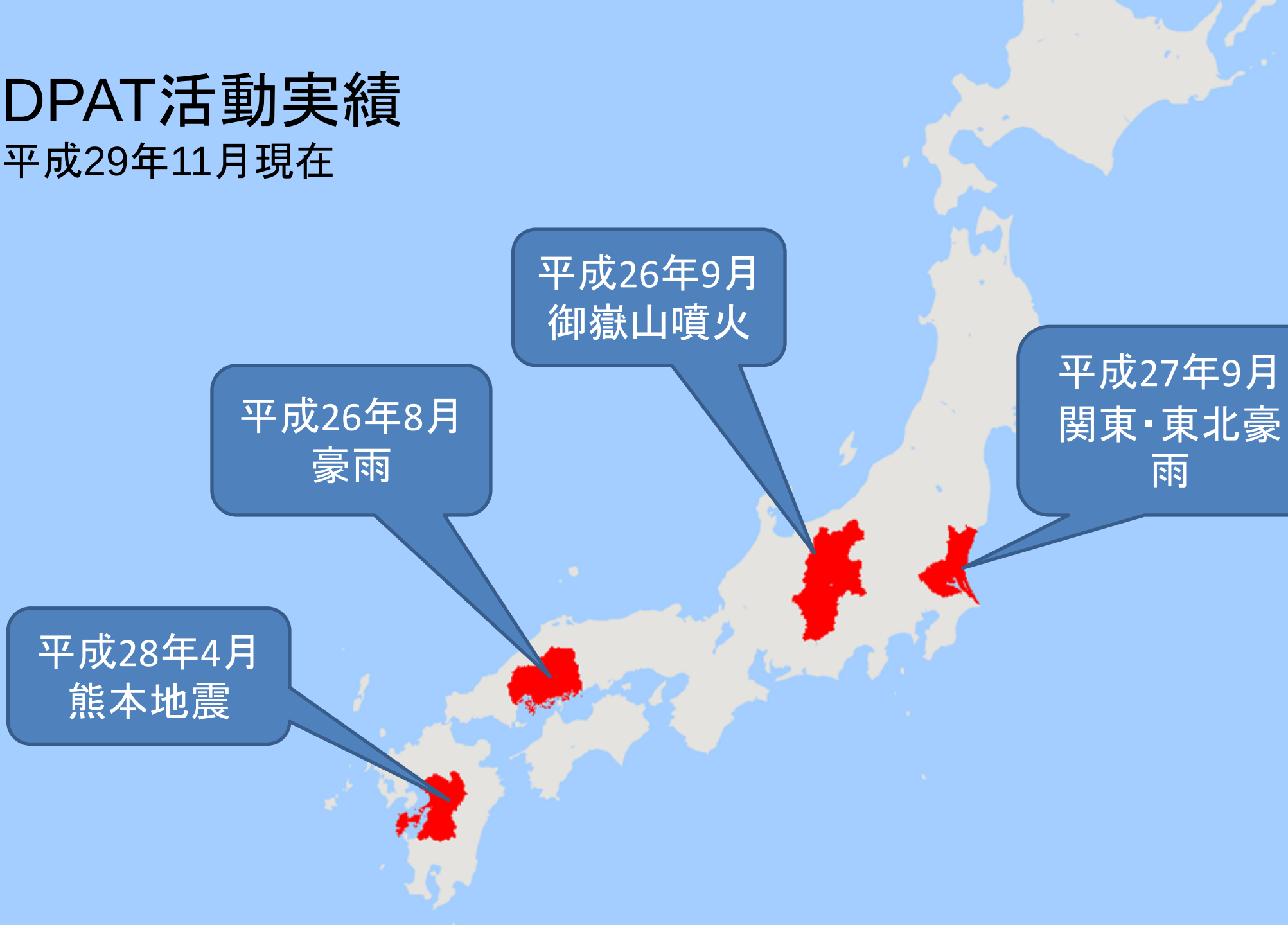
DPAT
Disaster Psychiatric Assistance Team

自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの大規模災害等の後、被災地域に入り、<u>精神科医療及び精神保健活動の支援を行う専門的なチーム。</u>



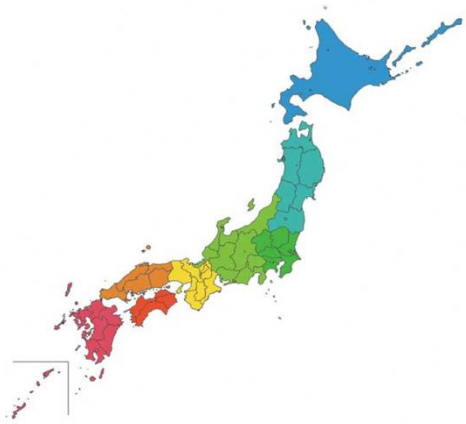
DPAT活動実績

平成29年11月現在

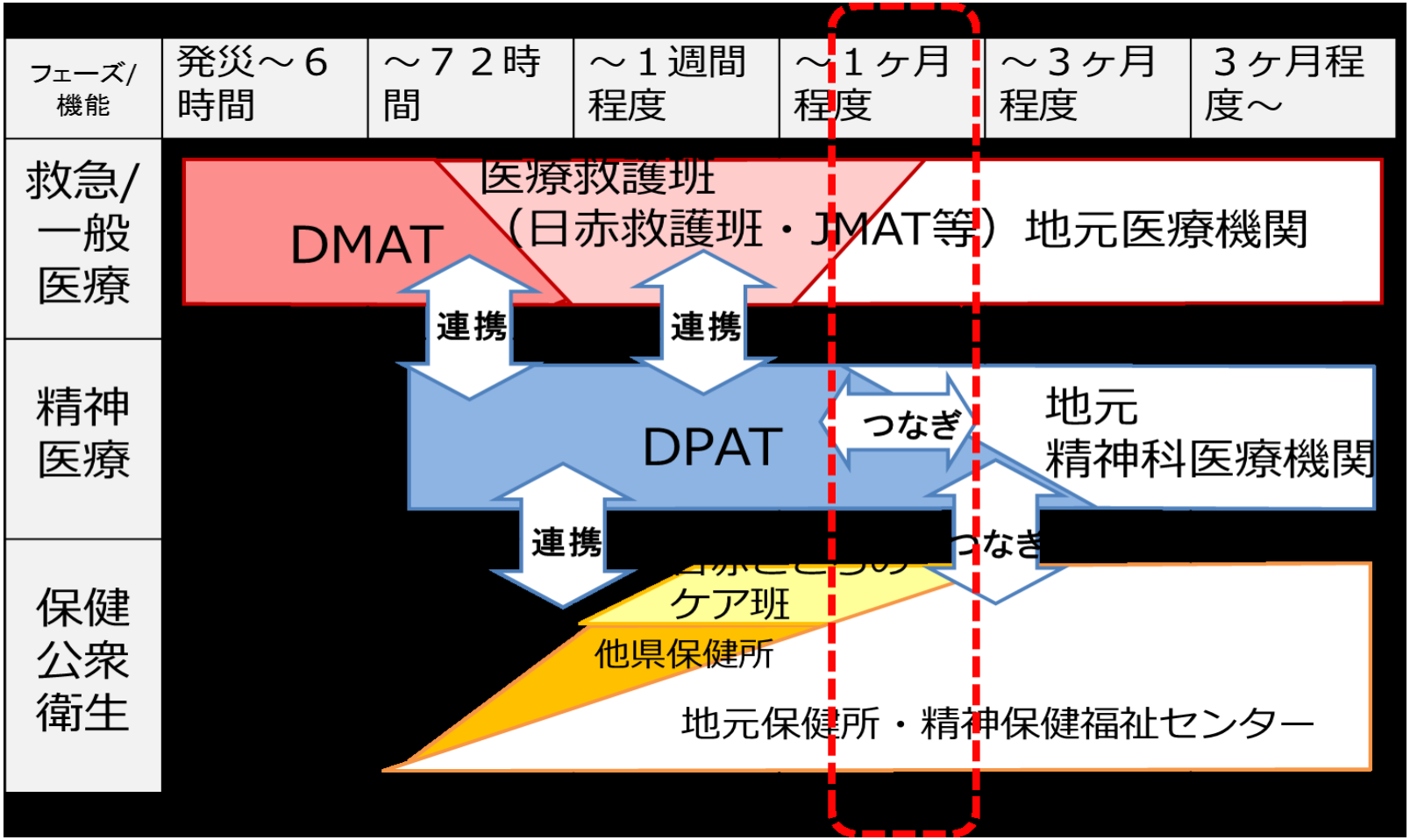


DPAT先遣隊を組織できる機関
32自治体、計38機関(平成29年2月21日時点)

- 1青森県　青森県立つくしが丘病院
- 2　医療法人青仁会青南病院
- 3岩手県　学校法人岩手医科大学
- 4宮城県　宮城県立精神医療センター
- 5山形県　山形県立こころの医療センター
- 6福島県　福島県立矢吹病院
- 7茨城県　茨城県立こころの医療センターチーム
- 8　筑波大学附属病院チーム
- 9栃木県　県立岡本台病院
- 10埼玉県　埼玉県立精神医療センター
- 11千葉県　千葉県精神科医療センター
- 12神奈川県　神奈川県精神保健福祉センター
- 13　神奈川県精神医療センター
- 14　北里大学東病院
- 15新潟県　新潟県精神保健福祉センター
- 16石川県　石川県立高松病院
- 17福井県　福井県立病院
- 18静岡県　静岡県立こころの医療センター
- 19愛知県　愛知県精神医療センター
- 20三重県　三重県立こころの医療センター
- 21　国立病院機構榊原病院
- 22京都府　京都府立洛南病院
- 23大阪府　大阪府立精神医療センター
- 24兵庫県　兵庫県こころのケアセンター
- 25和歌山県　和歌山県立こころの医療センター
- 26島根県　島根県立こころの医療センター
- 27岡山県　岡山県精神科医療センター
- 28広島県　医療法人せのがわ瀬野川病院
- 29山口県　山口県立こころの医療センター
- 30徳島県　徳島県立中央病院
- 31佐賀県　独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター
- 32長崎県　長崎県精神医療センター
- 33宮崎県　県立宮崎病院
- 34　社会医療法人同心会古賀総合病院
- 35　宮崎大学
- 36沖縄県　国立病院機構琉球病院
- 37北九州市　産業医科大学病院
- 38　医療法人清陵会南ヶ丘病院

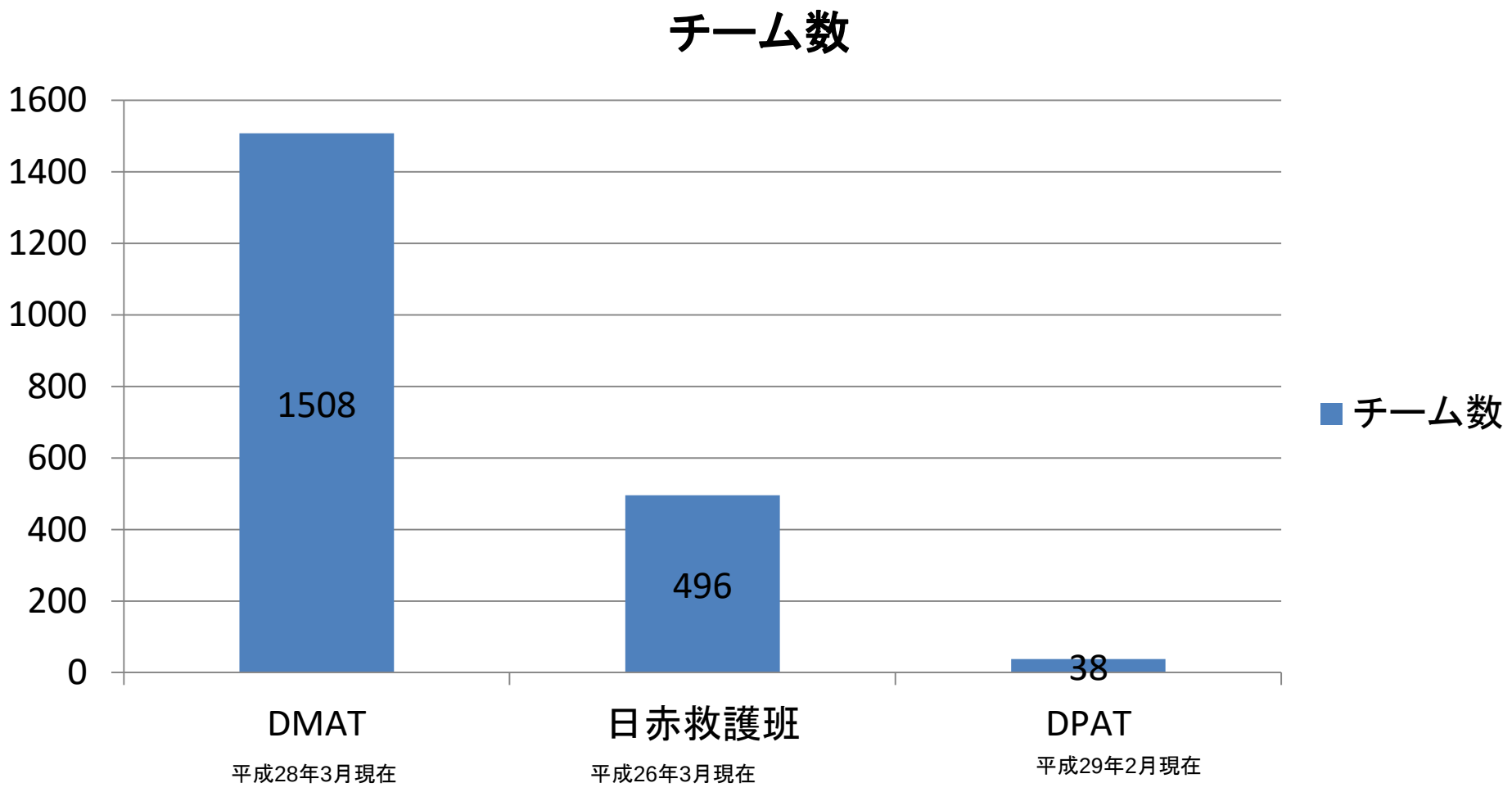


活動時期のイメージ

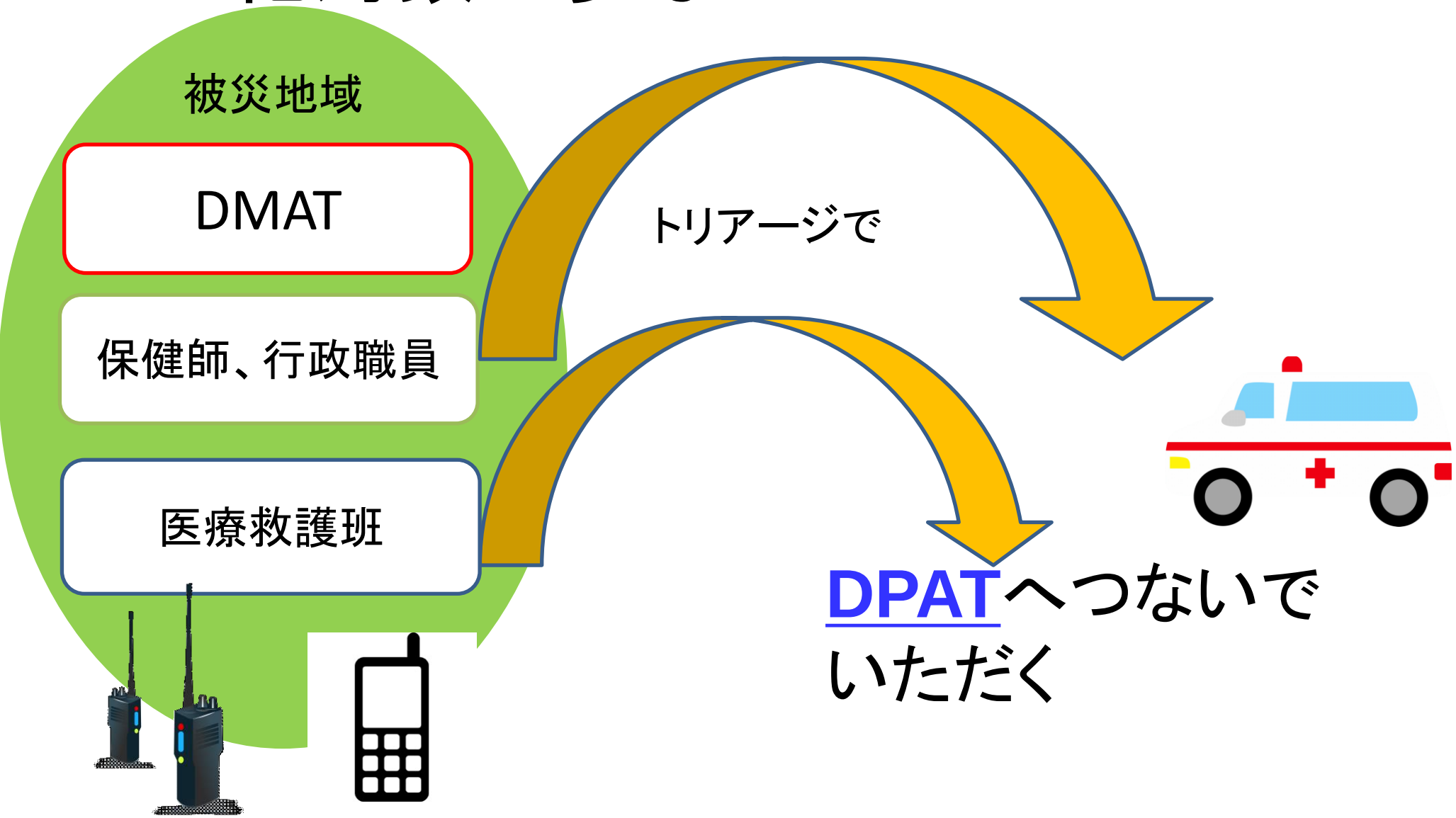


引用：DPAT事務局　http://www.dpat.jp/

主な災害医療チーム数の比較



絶対数が少ない・・・・・・・ので



主な役割

- 被災病院の病院支援
- 避難所、在宅の精神疾患をもつ被災者への医療的支援
- 災害のストレスによって新たに生じた精神的問題を抱える住民への医療的対応
- 支援者への医療的支援

DPAT先遣隊とは、ようするに

- 発災72時間以内に、自立した移動手段で、自立した生活道具一式、医療機器や薬剤を積んで駆けつける。
- 指揮命令系統に基づき活動。
- 破たんした精神科医療機関のアセスメントを行う。さらに不穏患者の搬送や、病院集団搬送を行い、被災地の精神科医療の補完を行う。
- DPAT本隊へ引き継ぐまで活動を行い、ニーズがあれば、避難所等で精神科医療を提供し、フォローの道筋を立てる。

平成28年熊本地震（平成28年4月14日～）

１．災害概要

・4月14日21:26頃、熊本県熊本地方を震源とするM6.5の地震（最大震度７）が発生

・4月16日1:25頃、同地方を震源とするM7.3の地震（最大震度７）が発生

・災害救助法、被災者生活再建支援法が適用

・死者：48名　負傷者：1403名（警察庁4月27日調べ）

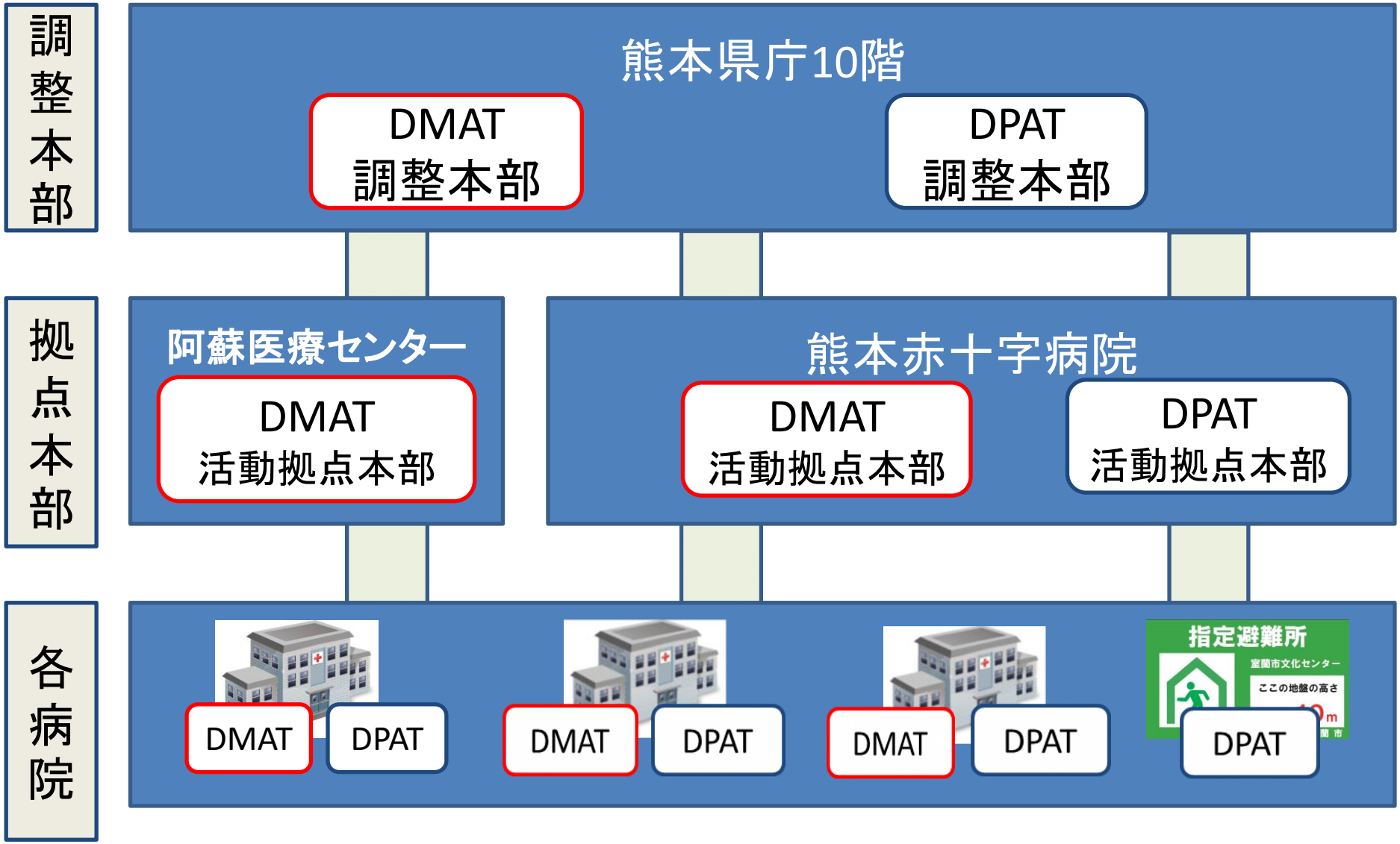
・住宅被害：全壊1952棟、半壊2,053棟、
一部破損7,238棟（消防庁4月27日調べ）

２．医療機関の被災概要

・5医療機関（精神科以外）約820名の入院患者を搬送（4月16・17・20日、DMAT約300隊・消防 ）

・精神科病院協会等の協力のもと、7精神科医療機関計591人（県内319人、県外272人）の入院患者を搬送（4月15日・16・17日、DPAT・DMAT・自衛隊）

熊本地震　DMAT･DPAT組織図（4/14～21）



熊本での活動内容

- 徳島県DPAT先遣隊は4/15～19日まで活動
- 熊本市内の病院から佐賀県の病院まで搬送（病院支援）
- 避難所での診察、相談に従事

- その後、
- 7月中旬まで熊本県外DPATが支援
- 7月中旬以降、10月28日まで熊本県内のDPATが活動を続けた

まとめ

- 多数の被災者への対応
  →支援者各自がPFA（隊員同志のケアも含む）
  個別もしくは精神科対応が必要なケース
  →DPATが対応します
- DPATは機動性のある災害精神医療チーム
  →どんな場所でも伺います
  →差し入れは必要ないです
  →自己完結型です
- 先遣隊が去ったあとも、
  →DPATはフォローし続けます
  →DPAT1チームが大体5日間活動します
- 平時から顔の見れる関係性が大切です
  →何かあれば徳島DPAT先遣隊まで

代表　tokushima_dpat@outlook.com

すべては被災者のために